



“地域へ恩返しを”
有限会社ハマスイ

企業×高校で取り組む地域活性化 “愛南ゴールド真鯛”

県立南宇和高校
地域振興研究部

町のふるさと納税返礼品にも登録され、2023年には情報雑誌『ESSE』の開催する「ESSEふるさとグランプリ」で金賞を受賞するなどの高い評価を得ている「愛南ゴールド真鯛」。この商品開発の裏には、企業と高校生の「ふるさと愛南」に込めた思いがあります。

有限会社ハマスイの濱田嘉之社長と南宇和高校2年生の稲田若菜さん（地域振興研究部・部長）を通じ、企業と高校生が協力する地域活性化への取り組みについて紹介します。



高校と一緒に作り上げた商品

深浦に事業所を構え、マグイ以外にもカツオなどの加工品を取り扱う有限会社ハマスイ。

ハマスイの特許技術を使用し、血抜き処理をして愛南ゴールドの果汁を加えて作る「愛南ゴールド真鯛」には、グローバルGAP認証（食品安全、労働環境、環境保全に配慮した持続的生産活動を実践する団体が受けることのできる国際基準）取得校である南宇和高校の愛南ゴールドが使用されています。

愛南ゴールド真鯛は、開発当初からハマスイと南宇和高校が協力して作り上げ、PRも一緒に行ってきました。

これまでの活動を通して、そしてこれからへ——



濱田社長

私たちは“感動する”商品を作りたいと思っています。特に海外で愛南ゴールド真鯛を紹介するときは、ただ「愛南の鯛」とするのではなく、地元の高校生たちと一緒に苦労をして作り上げてきたというストーリーと一緒に商品をPRするようにしています。

愛南は魅力だらけの町で、特に温かさや人情深さのある町です。ハマスイは「魚を通して地域を支える企業」を目指し、これからもふるさと納税などを通じてこの町へ恩返しできる企業でありたいと思います。

東京ビッグサイトで開催されるシーフードショーなど、いろんな場所で町や愛南ゴールド真鯛のことをPRしてきました。「高校生ならではの思い」や「自分の思い」を伝えるということを大事にしてきました。

私たち地域振興研究部は、愛南のPR、活性化のために活動しています。この町は、人と距離が近くて温かい町です。そんな町に貢献できるように、今後も活動を続けていきたいと思っています。



稲田さん

※取材は令和6年2月に行いました。